

親子聖書日課

[日]主を信じる人は、何歳でも人生を新たにすることができます。古い罪ある自分が葬られ、主と共に新しい命に復活するからです。その出発点がバプテスマで、主を信じるなら誰でも受けることができます。霊の誕生日を迎えてみませんか。

[月]皆もしているから大したことはない、罪を甘く見てはいけません。「罪の支払う報酬は死」です。こんな報酬はいらないと断れません。しかし、感謝なことに、主の救いによって、私達に永遠の命が与えられました。主を信じて、命を得ましょう。

[火]「わかつちやるけど、止められない」という罪はありませんか。罪は自分の力では解決することはできません。主だけが罪を取り除くことができます。主を信じるなら、今すぐ「わかつちやるけど、止められます」と、胸を張って言えるでしょう。

[水]肉(この世)の思いに支配される時、平安はなく、霊的に死んだ状態です。「命と平和」を得るには、霊の思いに支配されることです。主を心の王座に迎えて、人生を主に委ねましょう。人生のハンドルを主に明け渡すなら、どんな道も安全です。

[木]内村鑑三は、「信仰者の生涯は、始め悪くとも、終わり全て善し」と言いました。それは「万事が益となる」からです。ただ主を信じていればよいではありません。使徒達のように大胆に死に至るまで、主に忠実に仕える者になることです。

[金]主を信じたら離れないのが、「キリストの愛」です。主の愛はどんな苦しみからも私達を守り、支え、人生に「輝かしい勝利」を与えて下さいます。例え、死の宣告を受けても、復活の命が待っています。主の愛の深さ、広さ、大きさを知りましょう。

[土]人が救われるのは、人間の努力ではなく、ただ神の憐れみです。とは言っても、何もしなくてよいわけではありません。パウロは滅びゆく人々を思うと「深い悲しみ、絶え間ない痛み」がありました。私達も祈禱会で熱心に祈り、伝道に励みましょう。



©fumina

NO.1974 2026.7/26-8/1

名前

	聖書	問題	答え
日	ローマ 6:1-14	キリスト・イエスは結ばれるために、何を受けましたか。	
月	6:15-7:6	罪が支払う報酬は、何ですか。	
火	7:7-25	自分の望む善は行わず、望まない何を行っていますか。	
水	8:1-17	肉の思いは死であり、霊の思いは何と何ですか	
木	8:18-30	神を愛する者たちは、どうなるように共に働くことを知っていますか。	
金	8:31-39	私たちを愛してくださる方によって、何を収めていますか。	
土	9:1-18	神はご自分を憐れみたいと思うものをどうされました。	
感想と祈りの課題			